

はえばる社協だより
ちむぐくる

●発行/南風原町社会福祉協議会 ●編集/社協だより編集委員会
〒901-1104 南風原町字宮平697番地10 電話(098)889-3213 FAX(098)889-6269
https://www.haebaru-shakyo.org
E-mail:syakyou@pub.town.haebaru.okinawa.jp

第215号 ●兼城の石獅子と町花(ブーゲンビリア)



参加者全員による体操



利用者の作品展示



町長からご長寿者賞を授与される参加者

第16回 ～ ミニデイサービス利用者交流会 ～



練習の成果を披露(第二団地)



みんな衣装を揃えて踊りました(宮城)



息の合った踊りを披露(宮平)



元気に踊りました(新川)

各地域の公民館や集会所で開催されているミニデイサービス利用者の交流会が、11月26日(火)南風原町立中央公民館(黄金^{くがに}ホール)で行われ、利用者ボランティア合わせて402人が参加して交流を楽しみました。

宮城調俊さん(北丘ハイツ自治会長)の司会進行のもと、前川義美町社協会長のあいさつに始まり、赤嶺正之町長の激励のあいさつがありました。次いで、90歳以上の利用者へ贈られる「ご長寿賞」の表彰が行われ、今年54人の対象者のなか、当日参加した32人が町長から一人ひとりに賞状と記念品が贈られました。

舞台発表では、日々練習を重ねた踊りを披露しました。第二団地さわやかなの会は「肝^{ちむ}がなさ節」、新川ひまわり会は「365歩のマーチ」、宮城はごろも会は「稲^{いな}しり節」、宮平なーでえらの会は「もしもしカメよ、カメさんよ」と「安里屋^{やすらや}ユンタ」を踊り、会場は大いに盛り上がりました。

最後に、利用者を代表して本部いじゅんの会の大城徳次郎さん(76歳)があいさつを行い、楽しく過ごしている様子と日頃からお世話になっているボランティアや民生委員、社協へのお礼を述べられました。

会場後方には「ゆんたく広場」も設けられ、お茶やコーヒーを飲みながら久しぶりの友人との再会を喜ぶ姿も見られ、皆さん素敵なお話を聞かせていただきました。

また、町中央公民館ロビーと出入り口付近の広場では、利用者によるいろいろなアイデアの作品展示が行われ、交流会参加者や公民館を訪れる方々を楽しませていました。

地域福祉懇談会を開催しました

in本部



11月25日(月)午後7時半から本部児童館にて、本部地域福祉懇談会を開催しました。「本部地域に関して日頃感じていること」「本部地域をこれからどんな地域にしたいか」をテーマに懇談を行いました。多くの意見が交わされ話は尽きず、その後の懇親会まで続きました。



＜本部地域の懇談で出た意見(一部)＞

- ねこの糞の被害がある。他地区では役場から予算をもらい猫の去勢をしたり、猫のトイレの設置、飼い猫に首輪をしてもらうよう周知するなどの取り組みをしている。しかし区民総出でやらないとできない。
- 本部公園は遊具も上等になって利用者が多い。しかし、公園周辺の路上駐車(土日)があり、公園前の道路の車のスピードも速い。生活の場なので公園利用のルールもつくってほしい。
- 空き家対策。空き家が多いが、仏壇があるところが多い。以前は11か所だったが、今はもっと増えているだろう。空き家状況を把握したい。
- 伝統芸能がある。十五夜、獅子舞。300年位の伝統がある。三味線等は師範レベルもいる。30代・40代に伝統芸能を引き継いでいけたらいい。
- 80代ボランティアを70代・60代に世代交代していきたい。
- おじさんの会をつくって欲しい(草刈り・木の伐採など)。

12月16日(月)には兼城公民館にて、兼城地域福祉懇談会が開催され、同区の審議委員や評議委員をはじめ民生委員、福祉協力員などが集まり、多くの意見や質問が交わされました。

in兼城



＜兼城地域の懇談で出た意見(一部)＞

- アパート世帯が増え、近所であいさつする人が減っている。地域に住んでいる方と少しずつ触れ合って顔の知れた関係がつかれるといい。
- 自治会員でも行事になかなか参加しない人もいるので、地域活動の情報を伝え、参加しやすい雰囲気をつくりたい。あわせて行事に参加していない人の意見も聞いて改善していきたい。
- 伝統の綱引きや祭りがあり、近年は中学校で綱うちを教えている。今残っている行事：綱引き・盆踊り・新年会・納涼祭などだけでも大切にしていきたい。
- 学校と地域で連携していきたい。
- 兼城から大人になって出た後も、いつでも戻れる環境をつくりたい。

今回出た意見を区長・地域役員・民生委員や地域住民等とともに共有し、自治会などと連携しながら今後の地域づくりに取り組んでいきたいと思っております。今回ご参加いただいた住民のみなさん、ありがとうございました。

～JA女性部より味噌の寄贈がありました～

12月24日(火)、JA女性部より今年も手作り味噌250個の寄贈がありました。寄贈された味噌は歳末たすけあい運動の一環として、沖縄県共同募金会南風原町共同募金委員会(南風原町社協)が主体となり町民をはじめ民生委員児童委員、区長・自治会長の協力を得て、新たな年を安心してあたたかい気持ちで迎えることができるよう、町内の日常生活に困っている世帯へ配分されました。JA女性部の皆さま、ありがとうございました。



子育てサロンでウンチちい知育教室

ヤクルトで乾杯



11月5日(火)、ちむぐくる館ホールにて、平田奈美さん(沖縄ヤクルト株式会社)を講師にお招きし、「健腸出前授業 ヤクルトウンチ知育教室」を行い、親子13組(総勢26人)が参加しました。エプロンシアターでは、男の子が食べたご飯がウンチになるまでを分かりやすく解説し、一生懸命見る子どもたちのまなざしが印象的でした。

身長約4倍だという小腸の長さを模型で確認し、ウンチが作られる身体のしくみなどを楽しみながら学びました。

「ウンチは“便”とも書き、ウンチをするところを“便所”と呼びます。ウンチは身体からのお便りというわけです」と話され、良いウンチの条件は「水に浮くウンチ、バナナの形をした2~3本の量、においがきつくない、スルッと出る」、また、良いウンチをつくる食べ物は「くだもの、海藻、きのこ、いも、野菜」との説明がありました。その後、親子で体操などをし、最後にヤクルトで乾杯しました。

参加者からは「人の腸がこんなに長いとは思わなかった」「子どもと一緒にウンチ体操ができて楽しかった」「これからは、家族みんなで毎日ヤクルトを飲んで良いウンチをしたい」「ウンチは身体からのお便りと聞いて、子どものウンチをチェックすることの大切さを知った」などの声が聞かれました。

(株)アサヒプラント様よりクリスマスケーキの寄贈がありました

~ちむぐくる館にサンタがやってきた~



今年も12月18日(水)・20日(金)に、(株)アサヒプラント(社長 中本宏)様より、クリスマスケーキ70個の寄贈があり、町内の保育園や児童館、子育てサロンなどへ贈呈されました。

子育てサロンでは、18日のケーキの贈呈の日に合わせて、合同クリスマス会が行われました。

ケーキを受け取りに来た、さんご保育園の園児たちがその後飛び入りで感謝をこめて「パプリカ」のダンスを披露し、支援センターたんぽぽ広場(津嘉山保育園)の職員によるブラックシアターや、キャラクターの風船を使ったダンスもありました。サンタさんから、プレゼントをもらい、親子41組(総勢88人)で、美味しくケーキをいただき、クリスマスを楽しみました。

参加したお母さんは「ケーキがとても美味しかったです、最高でした」「アトラクションも子どもと一緒に楽しめて、良い思い出になりました」との声が聞かれました。

たくさんの笑顔を運んでくれるクリスマスケーキの寄贈は、今年で22回目となります。温かい心のこもったプレゼントに感謝いたします。ありがとうございました。

生活福祉資金貸付制度のご案内

低所得世帯や障がい者世帯などに対し、低利子や無利子で必要な資金を貸付します

○教育支援資金

- 高等学校、大学(短期大学・専修学校含む)又は高等専修学校に就学するのに必要な経費と、入学に際し必要な経費を貸し付けるものです。
- 相談・申込から返済が終了するまで、地域を担当する民生委員が援助活動を行います。

① 教育支援費

- 高等学校、大学(短期大学及び専修学校の専門課程を含む)又は高等専門学校に修学するために必要な経費
- ② 就学支度費
- 高等学校、大学又は高等専門学校への入学に際し必要な経費
- ③ 技能習得費
- 専門学校、自動車教習所等に通い、就職するために必要な知識・技能を習得するための経費

※「教育支援資金」に関しては、日本学生支援機構、母子寡婦福祉資金、等の制度利用が優先されます。

※貸付の相談・申請受付は町社協が行い、県社協に提出し審査会にて貸付の可否が決定されます。

※その他の必要な資金の貸付についての詳細・ご相談は町社協までお問い合わせください。

助け合い金庫貸付事業について

療養または休職、緊急の出費等で一時的に日常生活に支障が生じた世帯に対し、小口資金を無利子で貸付します。

- ・貸付額 10万円以内
- ・償還期間 1年間

※貸付には原則として保証人が必要です

お問い合わせ先：南風原町社会福祉協議会
TEL(098)889-13213



令和元年度 共同募金 チャリティークリスマスコンサート ～ご協力ありがとうございました～



去る12月21日(土)に、町立中央公民館でチャリティークリスマスコンサートを開催しました。コンサートは沖縄県共同募金会南風原町共同募金委員会が実施している「赤い羽根共同募金運動」並びに「歳末たすけあい運動」の周知を図るために毎年12月に実施しており、今回で14回目となります。

今年も、外間三枝子さんを中心に、片桐仁美さん、宇江喜ゆりさん、浜元華織さん、安富祖貴子さん、大田倫子さん、日野命子さん、くがに合唱団、南風原町少女合唱団、南風原中学校吹奏楽部による歌や楽器演奏で会場を訪れた親子連れら150人余がクリスマス気分を満喫しました。

コンサートの収益金は町共同募金委員会に寄附され、町内の地域福祉の向上に役立てられます。皆さまのご協力ありがとうございました。



さあ!みんなで歌おう! クリスマスソング!



浜元華織さんのピアノ演奏



片桐仁美さんによるアルト独唱



南風原中学校吹奏楽部

ちむぐる館の健康増進室で健康体操!



ちむぐる館の健康増進室では毎月1回、社会福祉法人『^{ちひろかい}千尋会 ^{うれし}嬉の里』による出前講座を行っています。普段はテレビ画面を使って健康体操を行っていますが、この日(12/16)は嬉の里の饒平名勝さん・古波倉正隆さん・真喜屋美樹子さんに来ていただき、介護福祉士の古波倉さんによる転倒予防体操を行いました。

上半身のストレッチを行ったあと、下肢の筋力強化では「転んだ時に1歩踏ん張れるかどうかポイントになる」ことから足あげ運動をし、またすり足にならないようにと足首の運動も念入りに行っていました。

参加者は30分間の体操で、身体が軽くなりいい運動になったようで、講座後も増進室の運動器具を使い思い思いに体を動かしていました。

今後の開催日は健康増進室内にポスター掲示しますので、ご確認の上、体験してみたいかがでしょうか。

ご寄附ありがとうございました (令和元年12月1日から12月28日まで)

【一般寄附】

- 真志喜トミ 様 3,000円
- 匿名 様 3,000円
- 匿名 様 5,000円
- 匿名 様 7,099円
- 株式会社近代美術
社会貢献倶楽部 様 32,648円



株式会社 近代美術
社会貢献倶楽部様より
南風原町社協 前川会長へ

【香典返し】

- 福地 光繁 様 (字与那覇) 50,000円
故母 福地カメ子 様の香典返しとして
- 金城 美津子 様 (字津嘉山) 100,000円
故夫 金城宏伸 様の香典返しとして
お亡くなりになられた方の御冥福を
心からお祈り申し上げます